

授 業 科 目 名	学習の心理(Psychology of Learning)		
科 目 番 号	9100211	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	火曜・3、4 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	人文・応理・エシス・比文・日日・社工対象		
担 当 教 員 (連 絡 先)	大塚 泰正, 藤 桂, 原田 隆之		
オ フ ィ ス ア ワ ー	秋 C 火曜 3・4 時限前後		
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1)学習の概念を踏まえつつ, 行動変化のメカニズム, 記憶・推論・問題解決等の高次の心的機能について説明できる。</p> <p>(2)学習意欲や動機づけの概念について説明し, 子どもの学習意欲を高めるための具体的方法を考えられる。</p> <p>(3)様々な教授・学習方法を学ぶとともに, 教育効果の評価方法の多様性を理解し, テスト作成と基礎的な統計的知識について説明できる。</p> <p>(4)知能と創造性の概念と測定法について説明できる。</p> <p>(5)教師と学級集団① 教師のリーダーシップ, 学級風土, 学級集団規範</p> <p>(6)教師と学級集団② 学級集団の測定(ソシオメトリックテストなど)</p>		
授 業 の 概 要	学校教育に必要な基礎理論として, 幼児, 児童及び生徒(障害のある幼児, 児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。		
授 業 計 画	<p>第1回: 学習とは何か</p> <p>第2回: 学習の基礎理論: 条件づけ, モデリングなど</p> <p>第3回: 記憶と問題解決</p> <p>第4回: 学習と動機づけ</p> <p>第5回: 教育評価① 教育評価の概念, 多様な教育評価,</p> <p>第6回: 教育評価② テスト作成と統計など</p> <p>第7回: 知能と創造性① 知能・創造性の概念</p> <p>第8回: 知能と創造性② 知能検査・創造性検査など</p> <p>第9回: 教師と学級集団① 教師のリーダーシップ, 学級風土, 学級集団規範</p> <p>第10回: 教師と学級集団② 学級集団の測定(ソシオメトリックテストなど)</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	試験と提出課題の成績により総合的に評価する。		
テ キ ス ト	適宜指定する。		
参 考 文 献	<p>新井邦二郎・濱口佳和・佐藤純(2009)『教育心理学 学校での子どもの成長をめざして』培風館</p> <p>服部環・外山美樹(2013)『ライブラリ・スタンダード心理学 6 教育心理学』サイエンス社</p> <p>濱口佳和(2018)『MINERVA はじめて学ぶ教職⑤ 教育心理学』ミネルヴァ書房</p> <p>外山紀子・外山美樹(2010)『優しい発達と学習』有斐閣</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	日頃から学校教育に関する話題に高い関心を持っておくこと。		
受 講 学 生 に 望 む 事 項	教師になるということを意識して真剣に学んでほしい。		
備 考	旧課程の教育心理学Ⅱに対応。		

授 業 科 目 名	学習の心理(Psychology of Learning)		
科 目 番 号	9100221	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	金曜 1、2 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術対象		
担 当 教 員 (連 絡 先)	加藤 克紀、綾部 早穂、山田 一夫、高橋 阿貴		
オ フ ィ ス ア ワ ー	加藤(kkato@human.tsukuba.ac.jp)まで連絡すること。		
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1) 学習の概念を踏まえつつ、行動変化のメカニズム、記憶・推論・問題解決等の高次の心的機能について説明できる。</p> <p>(2) 学習意欲や動機づけの概念について説明し、子どもの学習意欲を高めるための具体的方法を考えられる。</p> <p>(3) 様々な教授・学習方法を学ぶとともに、教育効果の評価方法の多様性を理解し、テスト作成と基礎的な統計的知識について説明できる。</p> <p>(4) 知能と創造性の概念と測定法について説明できる。</p> <p>(5) 教師と学級集団① 教師のリーダーシップ、学級風土、学級集団規範</p> <p>(6) 教師と学級集団② 学級集団の測定(ソシオメトリックテストなど)</p>		
授 業 の 概 要	学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。		
授 業 計 画	<p>第1回:学習とは何か(加藤)</p> <p>第2回:学習の基礎理論:条件づけ,学習形態など(加藤)</p> <p>第3回:記憶と問題解決①(綾部)</p> <p>第4回:記憶と問題解決②(綾部)</p> <p>第5回:動機づけ①(山田)</p> <p>第6回:動機づけ②(山田)</p> <p>第7回:知能と教育評価①(高橋)</p> <p>第8回:知能と教育評価②(高橋)</p> <p>第9回:学級集団①(加藤)</p> <p>第10回:学級集団②(加藤)</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	学期末の筆記試験により評価する。		
テ キ ス ト	服部環・外山美樹(2013)『ライブラリ・スタンダード心理学 6 教育心理学』サイエンス社		
参 考 文 献	<p>新井邦二郎・濱口佳和・佐藤純(2009)教育心理学 学校での子どもの成長をめざして 培風館</p> <p>濱口佳和(2018)MINERVA はじめて学ぶ教職⑤ 教育心理学 ミネルヴァ書房</p> <p>外山紀子・外山美樹(2010)優しい発達と学習 有斐閣</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	復習をしっかり行い、わからない点があれば、そのまま放置せず、教員に積極的に質問したり、図書館等で調べたりすることが望ましい。		
受 講 学 生 に 望 む 事 物	授業内容と教育現場との関連を常に気にかけてほしい。		
備 考	旧課程の教育心理学Ⅱに対応。		

授 業 科 目 名	学習の心理(Psychology of Learning)		
科 目 番 号	9100231	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	月曜・3、4 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報対象		
担 当 教 員 (連 絡 先)	加藤 克紀、綾部 早穂、山田 一夫、高橋 阿貴		
オ フ ィ ス ア ワ ー	加藤(kkato@human.tsukuba.ac.jp)まで連絡すること。		
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1)学習の概念を踏まえつつ、行動変化のメカニズム、記憶・推論・問題解決等の高次の心的機能について説明できる。</p> <p>(2)学習意欲や動機づけの概念について説明し、子どもの学習意欲を高めるための具体的方法を考えられる。</p> <p>(3)様々な教授・学習方法を学ぶとともに、教育効果の評価方法の多様性を理解し、テスト作成と基礎的な統計的知識について説明できる。</p> <p>(4)知能と創造性の概念と測定法について説明できる。</p> <p>(5)教師と学級集団① 教師のリーダーシップ、学級風土、学級集団規範</p> <p>(6)教師と学級集団② 学級集団の測定(ソシオメトリックテストなど)</p>		
授 業 の 概 要	学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。		
授 業 計 画	<p>第1回:学習とは何か(加藤)</p> <p>第2回:学習の基礎理論:条件づけ、学習形態など(加藤)</p> <p>第3回:記憶と問題解決①(綾部)</p> <p>第4回:記憶と問題解決②(綾部)</p> <p>第5回:動機づけ①(山田)</p> <p>第6回:動機づけ②(山田)</p> <p>第7回:知能と教育評価①(高橋)</p> <p>第8回:知能と教育評価②(高橋)</p> <p>第9回:学級集団①(加藤)</p> <p>第10回:学級集団②(加藤)</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	学期末の筆記試験により評価する。		
テ キ ス ト	服部環・外山美樹(2013)『ライブラリ・スタンダード心理学 6 教育心理学』サイエンス社		
参 考 文 献	<p>新井邦二郎・濱口佳和・佐藤純(2009)教育心理学 学校での子どもの成長をめざして 培風館</p> <p>濱口佳和(2018)MINERVA はじめて学ぶ教職⑤ 教育心理学 ミネルヴァ書房</p> <p>外山紀子・外山美樹(2010)優しい発達と学習 有斐閣</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	復習をしっかりと行い、わからない点があれば、そのまま放置せず、教員に積極的に質問したり、図書館等で調べたりすることが望ましい。		
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考	旧課程の教育心理学Ⅱに対応。		

授 業 科 目 名	学習の心理(Psychology of Learning)		
科 目 番 号	9100241	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	木曜・1、2 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育 1～5 クラス対象		
担 当 教 員 (連 絡 先)	加藤 克紀、綾部 早穂、山田 一夫、高橋 阿貴		
オ フ ィ ス ア ワ ー	加藤(kkato@human.tsukuba.ac.jp)まで連絡すること。		
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1)学習の概念を踏まえつつ、行動変化のメカニズム、記憶・推論・問題解決等の高次の心的機能について説明できる。</p> <p>(2)学習意欲や動機づけの概念について説明し、子どもの学習意欲を高めるための具体的方法を考えられる。</p> <p>(3)様々な教授・学習方法を学ぶとともに、教育効果の評価方法の多様性を理解し、テスト作成と基礎的な統計的知識について説明できる。</p> <p>(4)知能と創造性の概念と測定法について説明できる。</p> <p>(5)教師と学級集団① 教師のリーダーシップ、学級風土、学級集団規範</p> <p>(6)教師と学級集団② 学級集団の測定(ソシオメトリックテストなど)</p>		
授 業 の 概 要	学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。		
授 業 計 画	<p>第1回:学習とは何か(加藤)</p> <p>第2回:学習の基礎理論:条件づけ、学習形態など(加藤)</p> <p>第3回:記憶と問題解決①(綾部)</p> <p>第4回:記憶と問題解決②(綾部)</p> <p>第5回:動機づけ①(山田)</p> <p>第6回:動機づけ②(山田)</p> <p>第7回:知能と教育評価①(高橋)</p> <p>第8回:知能と教育評価②(高橋)</p> <p>第9回:学級集団①(加藤)</p> <p>第10回:学級集団②(加藤)</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	学期末の筆記試験により評価する。		
テ キ ス ト	服部環・外山美樹(2013)『ライブラリ・スタンダード心理学 6 教育心理学』サイエンス社		
参 考 文 献	<p>新井邦二郎・濱口佳和・佐藤純(2009)教育心理学 学校での子どもの成長をめざして 培風館</p> <p>濱口佳和(2018)MINERVA はじめて学ぶ教職⑤ 教育心理学 ミネルヴァ書房</p> <p>外山紀子・外山美樹(2010)優しい発達と学習 有斐閣</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	復習をしっかり行い、わからない点があれば、そのまま放置せず、教員に積極的に質問したり、図書館等で調べたりすることが望ましい。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	授業内容と教育現場との関連を常に気にかけてほしい。		
備 考	旧課程の教育心理学Ⅱに対応。		

授 業 科 目 名	学習の心理(Psychology of Learning)		
科 目 番 号	9100251	授 業 形 態	講義
単 位 数	1 単位	標 準 履 修 年 次	1 年次
実 施 学 期	秋 C	曜 時 限	月曜・3、4 時限
対 象 学 群 ・ 学 類	体育 6～10 クラス対象		
担 当 教 員 (連 絡 先)	外山 美樹		
オ フ ィ ス ア ワ ー	メール(mtoyama@human.tsukuba.ac.jp)でまずは連絡すること。		
授 業 の 到 達 目 標	<p>(1)学習の概念を踏まえつつ、行動変化のメカニズム、記憶・推論・問題解決等の高次の心的機能について説明できる。</p> <p>(2)学習意欲や動機づけの概念について説明し、子どもの学習意欲を高めるための具体的方法を考えられる。</p> <p>(3)様々な教授・学習方法を学ぶとともに、教育効果の評価方法の多様性を理解し、テスト作成と基礎的な統計的知識について説明できる。</p> <p>(4)知能と創造性の概念と測定法について説明できる。</p> <p>(5)教師と学級集団① 教師のリーダーシップ、学級風土、学級集団規範</p> <p>(6)教師と学級集団② 学級集団の測定(ソシオメトリックテストなど)</p>		
授 業 の 概 要	学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。		
授 業 計 画	<p>第1回:学習とは何か</p> <p>第2回:学習の基礎理論: 条件づけ、モデリングなど</p> <p>第3回:記憶と問題解決</p> <p>第4回:学習と動機づけ</p> <p>第5回:教育評価① 教育評価の概念、多様な教育評価、</p> <p>第6回:教育評価② テスト作成と統計など</p> <p>第7回:知能と創造性① 知能・創造性の概念</p> <p>第8回:知能と創造性② 知能検査・創造性検査など</p> <p>第9回:教師と学級集団① 教師のリーダーシップ、学級風土、学級集団規範</p> <p>第10回:教師と学級集団② 学級集団の測定(ソシオメトリックテストなど)</p> <p>定期試験</p>		
成 績 評 価 方 法	試験と提出課題の成績により総合的に評価する。		
テ キ ス ト	服部環・外山美樹(2013)『ライブラリ・スタンダード心理学 6 教育心理学』サイエンス社		
参 考 文 献	<p>新井邦二郎・濱口佳和・佐藤純(2009)『教育心理学 学校での子どもの成長をめざして』培風館</p> <p>濱口佳和(2018)『MINERVA はじめて学ぶ教職⑤ 教育心理学』ミネルヴァ書房</p> <p>外山紀子・外山美樹(2010)『やさしい発達と学習』有斐閣</p>		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法	復習をしっかり行い、わからない点があれば、そのまま放置せず、教員に積極的に質問したり、図書館等で調べたりすることが望ましい。		
受 講 学 生 に 望 む こ と	授業内容と教育現場との関連を常に気にかけてほしい。		
備 考	旧課程の教育心理学Ⅱに対応。		